



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和7年1月10日（金）No 36 発行
文責：松本 卓也

夢中になれることを見つけ、挑戦する1年に

2・3日に開催された「第101回東京箱根間往復大学駅伝競走」（箱根駅伝）。TVの平均視聴率が28.4%を記録する等、今やお正月の風物詩です。今年も熊本県内の高校を卒業した12人のランナーが出場する等、TVの前で応援された方も多と思います。

8日（水）の始業式では、9区を走った東大大学院の古川大晃（ひろあき）選手（八代市立第六中学校出身）を取り上げました。大学進学の際、一度は諦めた箱根駅伝大会への出場を模索し続け、今回のラストチャンスをつかみました。夢の箱根路を走り終えた古川選手は、「チームに貢献できなかったことは悔しいです。ただ、（東大の）秋吉選手とタスキをつなげたことだったり、たくさんの方が遠方から一世一代の応援をしてくれて、晴れやかで清々しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです」「高校の頃から憧れてやっていたと思っていました。遠回りしたけど、強く望み続けた意地、執念が（出場を）導いてくれました」と述べています。子どもたちには、「すべての一歩は、あなたの『やりたい』という思いで始まります。古川選手のように、夢中になれること（目標）を見つけ、挑戦する1年にしてください。」と伝えました。複雑で予測困難な時代だからこそ、変化を前向きに受け止め、新しい未来の姿を構想し実現していくことができます。今年も、東陽中の子どもたちは、自分の夢や仲間との目標に向かって、大きくたくましく成長していくことでしょう。私たち職員も力を合わせ、子どもたち一人一人の挑戦や、仲間との育ち合いを導き支えていきます。



【始業式 生徒発表】

- 「3学期は1年間のまとめであり、新2年生に向けてのスタートです。先輩としての自覚を持ち、悔いのないように頑張っていきたい。（1年生代表 Yさん）」
- 「勉強や体調管理に加え、ひとりぼっちのいない学校を目指します。笑顔で何でも言い合える3年生のようになりたいです。（2年生代表 Sさん）」
- 「3学期の抱負は、受検（験）に向けて全力を尽くすことです。クラスでは、残り3ヶ月、もっといい思い出を増やしていきたいです。（3年生代表 Mさん）」
- 「私の今年の漢字は“動（く）”です。短い学期ですが、自分の目標を立てて、悔いのない学校生活を送りましょう。（執行部代表 Iさん）」



【編集後記】明けましておめでとうございます

▼明けましておめでとうございます。各ご家庭でおだやかにお正月を過ごされたことと思います。▼私も熊本市や上天草市の実家に帰省し、家族や親戚と互いの近況を語り合いました。「バスケットボールの指導者になりたい（小学校教員を辞し、去年はオーストラリアの大学でコーチ経験を積みました）」「英語を生かした仕事に就きたい（大学を1年間休学し、カナダに留学しました）」と、甥や姪が未来への具体的展望を描き、実現に向け行動していることに嬉しさと驚きを感じました。私自身も夢や希望を語り、叶えるための行動をしていきたいと決意したところです。▼令和7年（2025年）を干支である「巳」のように、子どもたちが新しい自分に出会える年になるよう、努めてまいります。今年も、東陽中学校の教育活動に対しましてご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）